



「こんにちは 市長です」

10月1日号

菅首相が誕生した。秋田から上京して集団就職、そして苦学をしたなどという話を聞くとサラブレッドの安倍前首相とは明らかに違う。苦労人の菅首相がどれだけの活躍をしてくれるか、期待したい。

今、決算委員会の最中である。庁内放送で議員の質問と職員の答弁が聞こえてくる。気になるのは「過去3年間の数字を挙げてくれ」というのがある。そういう数字は事前に聞いてくれれば答える方もスムーズに議論に入れるのに！と思うんだけど、そうもいかないんでしょうか。微に入り細に入り質問があるので職員も汗かきかき、とはいえなかなかの答えをしている。職員への質疑が終わると総括質疑、全体として聞けなかったことを私に質問してくる。私はできるだけ普段着のまま答弁するようにしている。事前に「したい質問」が通告される。一つは今後の歳入の展望である。コロナは経済活動を制限し、景気は下向きになった。当然、市民の収入は減ってくる。ランニングコストを見直さなければならない、という視点からだ。その他、道路・水道・建物などに投資していくけど、方針として国の補助率が高いものを軸に実施することにしている。また、値下げ、引き下げの質問も付きものだ。生活が大変だというご家庭の費用負担はいつも気にしている。例えば、3歳未満の保育費は、国基準額に比べて最大で約7割、最小でも約4割も低い。兄弟が保育園に通っていれば2人目は半額、3人目は無料。介護保険料基準額も12市の中で富岡市の次に安い。「もっと安く！」と言われても財源は限られている。太田は他市に比べて劣ってはいない。無理と答弁したい。

3日間の委員会はまだ続いている。質疑を聴きながらこの原稿を書いている。「原稿、間に合わないんです～」催促されています。(9/17記)